

1. 件名：令和4年度原子力施設等防災対策等委託費（燃料集合体内液滴付着挙動解明試験）事業打ち合わせ

2. 日時：令和5年2月22日（木）10：30～12：00

3. 場所：原子力規制庁

4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループシビアアクシデント研究部門

金子主任技術研究調査官

関根技術研究調査官

増原技術参与

一般財団法人電力中央研究所 上席研究員、他1名

5. 要旨

一般財団法人電力中央研究所と委託契約を締結した「令和4年度原子力施設等防災対策等委託費（燃料集合体内液滴付着挙動解明試験）事業」の打ち合わせを実施し、今年度の進捗状況等についての確認を行った。内容は以下の通り。

- スペーサ乱流促進効果試験については、丸セル型のスペーサを対象に ParticleMaster を用いた液滴流動計測を完了し、全ての試験項目を完了した。
- スペーサランオフ効果試験については、グリッド型及び旋回羽型を対象に模擬燃料棒への液滴付着時の ParticleMaster を用いた液滴流動計測を完了し、全ての試験項目を完了した。
- スペーサ効果モデル案の作成については、前回打ち合わせまでに検討したスペーサ型毎の液滴付着計測結果から鉛直方向液滴付着分布への整理について、近似のための具体的な関数形を決定して、最終的なモデル案を取りまとめた。
- 以上より進捗状況については、スケジュールは予定通り進捗していること確認した。

6. 配布資料

なし